

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	本邦における婦人科悪性腫瘍合併妊娠の調査
研究責任者	山田 学
研究機関名	日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会 日本赤十字社医療センターほか国内の周産期母子医療センターならびにがん診療連携拠点病院約500施設
研究目的と意義	本邦における子宮頸癌および卵巣癌合併妊娠の発生頻度・治療方法・その予後を調査し、悪性腫瘍とその治療が妊娠・分娩・産褥にどのように影響したかを検討します。さらに、新生児の予後についても検討します。本研究は、本邦の周産期母子医療センターならびにがん診療連携拠点病院にて診断または治療された患者の情報を日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会が中心となって集め、解析します。
研究方法	カルテから、以下に関するデータを収集させていただきます。対象期間は2012年1月～2017年12月で子宮頸癌または卵巣癌合併妊娠の診療に関する診療記録、臨床検査データ(病理診断、分娩週数、手術方法、治療方法、最終生存日など)ならびに出生時に関する診療記録(出生週数、出生時体重、性別、新生児合併症など)、新生児も対象になっています。本研究で取り扱う患者さんの情報は個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形として、治療を行った施設から日本産科婦人科学会ホームページ上で情報登録を行います。データの通信はSSL暗号化通信で行われ、患者さんの情報は匿名化されています。また、患者さんの情報と個人情報の連結は治療を行った施設でのみ可能であり、研究事務局では患者個人の特定制ができません。本研究の対象となる方、またはその代理人(ご本人より本研究に関する委任を受けた方など)より、情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、受診された施設までご連絡下さい。停止を希望された場合でも不利益を被ることはございません。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 産婦人科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：山田 学 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604